



Innovation for the Rotary club ローターリーに新風を

11月のロータリーレートは、1ドル=78円

ガバナーからの手紙

炭谷 亮一

「ギリシャ国債で儲ける方法」 ～ソブリン・リスクなんか恐くない～



1997年にタイ・韓国などの多くのアジア諸国の通貨を一斉に売り浴びせて、アジア通貨危機をもたらした、アジア経済を滅茶苦茶にしたのは、投機筋（投機資本）であった。これらアジア諸国の経済運営の不合理さと、経済規模の小ささが原因で、健全な経済政策を遂行していれば投機など仕掛けられることはない。

しかし、近年金融工学などを使ったとんでもない金融商品が開発され、一筋縄ではいかなくなっている。もし、ギリシャ国債がデフォルトすれば二束三文となり、多くのヨーロッパの銀行は多量に国債を保有しているため、多額の損失を出し、倒産する銀行も出てくるであろう。

ところが、このギリシャ国債がデフォルトすれば、金儲けできるケースがある。実際に、ギリシャ国債を持っていないくても、当該国債について CDS（クレジット・デフォルト・スワップ）

を契約している場合である。

CDSとは、保証料さえ支払っておけば、デフォルトした場合に損失金額が保証されるという契約である。すると、国債がデフォルトすれば、国債額面と二束三文に下落した時価との差額が手に入る。もちろん、保証料よりも差額の方が格段に大きいから、丸儲けである。ギリシャ国債に関しては、こうした CDS 契約が少なくないだろうと言われている。

ギリシャのパンドレウ当時の首相は、ギリシャを経済的苦境に追い込んだ「犯人」はヘッジファンドや投機資本であり、CDSが「ギリシャをはじめ、EUの国々を悩ませる諸悪の根源」とであると批判した。

ギリシャ政府が進めようとしている財政再建に、多くの国民は反発している上に、実はギリシャのGDPの30%が闇経済である。意図的に投機筋が大混乱を「煽動」して財政赤字が削減できなくなり、ついに国債がデフォルトすることになれば、投機筋にとっては大歓迎となり大儲けできる。

まさに、ソブリン・リスク（国家破綻）を儲けの対象としたのが、CDS契約である。

世界的に有名な投機家であるジョージ・ソロスは、次にように述べている。

「CDS契約を購入するのは、他人の命を対象とする生命保険に入り、他人の生殺与奪の権利を握るようなものだ」と。

クラブ例会予定 2011-2012年度

11/24 六反田英一(アールイーエー社長)

「絵について思うこと」

12/1 年次総会

12/8(木)慰労親睦例会 湯涌温泉 湯の出

12/15 平口泰夫様(平口泰夫建築研究所所長)

12/22 年忘れ家族例会 於:招龍亭

2011～2012

(役員) 会長：西村邦雄 エト：北山吉明 副会長：野城 勲 幹事：魏 賢任 副幹事：宮永満祐美

前会長 藤間勘菊一 会計：竹田敬一郎 SAA：若狭 豊

(理事) クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：上杉輝子（親睦：上杉輝子 プログラム：杵屋喜三以満

SAA：若狭豊 ニコニコ：土田初子 友好・クラブ細則：藤間勘菊 奉仕プロジェクト委員長：多田利明

副：後出博敏（職業：申 東奎 社会：若狭豊 国際：藤間勘菊 ラオスITセンタープロジェクト：炭谷亮一）

会員組織委員長：金沂秀 副：相良光貞（会員増強修練：二木秀樹）

ロータリー財団委員長：木場紀子 副：江守道子（ロータリー財団・米山：吉田昭生 年次寄付：西村邦雄）

広報委員会委員長：永原源八郎 副：谷伊津子（広報：東海林也令子 ロータリー情報：大沼俊昭

会報：石丸幹夫）

常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 申 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田祐一 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル2F 〒920-0852 金沢市此花町3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 相川晶代

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp

ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 10:00～16:00 木 15:00～20:30 休憩時間 12:00～13:00 休日 土日祝日



例会優り

629回 例会

ホテル日航 5F

2011 11.17 (木) 19:00

出席率 18/38 47.36%

10月の修正出席率 93.92%



点 鐘

SONG

『 R-O-T-A-R-Y 』

四つのテスト



西村邦雄会長：寒くなってきました。お風邪をひかないようにご注意下さい。会の出席者が少ない

のは、地区大会も終わり会員の皆様にも疲れが出ているのかもしれませんが。

ゲスト紹介 (卓話者) 六反田 英一 (ろくたんだ・えいいいち) 様

ビジターの紹介 なし

《 食 事 》

幹事報告・委員会報告

お知らせ 藤間勤菊：宮永さんに狂言のチケットいただいたのですが、4枚ありますのでさしあげます。11/27 (日) で指定席です。



東京スカイツリー模型 (世田谷中央RC)



ニコニコBOX

¥6,000- 本年度 ¥263,000-

残高 ¥3,534,510-

西村会長 いよいよ冬の到来も間近となりました。お体を大切にして下さい。 藤間会員 六反田先生ようこそ。卓話楽しみに致しております。寒くなりました。皆様、お体お気を付けて下さいませ。 上杉会員

六反田先生お忙しい中、本日はようこそいらっしゃいました。お話、大変楽しみにしています。



講話の時間

「絵について思うこと」六反田 英一 (ろくたんだ・えいいいち) 様



講師紹介：上杉輝子会員 金沢美大をでられてからずーと絵を描いていらして、現代美術展大賞もとられています。どんな卓話かと楽しみです。会社に来られた時、イメージと少し違う雰囲気でしたが、絵をみまして、素敵な方だとおもいました。



画歴

- 1957 石川県生まれ
- 1982 金沢美術工芸大学油絵科卒 1987/1988 伊藤廉記念賞展 (名古屋日動画廊)
- 1994 個展 94～2004 (G-WING'S ギャラリー・金沢)
- 1995 上野の森美術館・日本の自然を描く展フジテレビ賞受賞 (東京)
- 1996 二紀展 (東京都美術館) 以後毎年出品
- 1997 上野の森美術館大賞展 '98.'99 (東京)
- 1998 雪舟ますだ美術大賞展 (島根)
- 1999/2000 伊豆美術祭絵画公募展 (静岡)
- 2000 個展 (銀座スルガ台画廊・東京)
- 2001 現代美術展 佳作賞 '02 '04 次賞 以後毎年出品 (石川県立美術館)
- 2002 北陸中日美術展 (石川県立美術館)
- 2004 個展 (銀座スルガ台画廊・東京)
- 2005 二紀展 同人推挙 (東京都美術館)
- 2006 現代美術展 次賞 (金沢 21 世紀美術館)
- 2007 個展 (ギャラリー吉純)
- 2009/2010 ニキ・リアル展 (ギャラリーボンテ)
- 2010 二紀展 同人賞 (国立新美術館)
- 2011 現代美術展 美術文化大賞 (石川県立美術館)

講話

本日はこのような素晴らしい席をご用意して頂き有難うございます。

画家として二紀会に所属しております六反田と申します。私は専門学校で講師をやっている、さらにデザイン事務所を開いております。

それではまず経歴とこれまでの歩みをお話したいと思います。

大学は金沢美術工芸大学の油絵科を卒業し、そして就職し広告代理店やデザイン事務所、印刷会社などをへてデザイン事務所を開きました。

当時は、パソコンも普及し始めて個人でもデザインの仕事ができる状態でしたので、1人2人でも事務所を開くそんな人が多かったです。ちなみに絵の大きさはこの表のようになっていて1号幾らと言う計算をしています。それぞれ作家によってちがいます。号1万円からうえは100万円をこえている作家もいます。

ただ10号ぐらい迄の大きさの基準でそれ以上の大きな作品は当然その価格よりは安くなります。また油絵と日本画を比べると日本画の方が高いようです。需要が多いようです。

社団法人 二紀会同人

日本美術家連盟会員

石川県美術文化協会会員

金沢情報科学技術専門学校 講師

デザイン事務所 アールイーエー代表

ただ買われるお客様によって基本的には価格が決まるので、この号幾らは一つの基準と考えて良いとおもいます。ついでに言うと絵を飾るとき、居間や玄関など高さ等は 145cm ほどの高さが絵の中心になるぐらいが良いと思います。人間の目のたかさより少し低いぐらいが絵の中心という具合が見やすい高さかと思えます。

さて次の画面ですが個展の案内ハガキです。場所は金沢の東インターそばの四緑園という造園業の事務所にあるギャラリースペースで 10 年間毎年個展をいたしました。もちろんその他にもグループ展などもいたしました。この絵は子どものイメージを平面的に配して色も暖かい暖色を使いほのぼのとした状態を作ってみました。このそのごファンになっていただきあと数十点の作品を買って頂きいまでもおつき合いさせて頂いております。これがその時の個展会場です。

次が 2 回目の個展はがきそして会場にある作品です。この作品は上野の森美術館の風景を描く展にてフジテレビ賞を頂きました。さすがにこの作品はすぐに売れました。次の作品も同じ展覧会で優秀賞を頂きました。

二紀会には今年で 15 回出品しております。この会は全国に 2 千人程いるいわゆる公募団体です。こちらでは 6 0 人ほど会員がおります。絵に詳しい方は御存知かとおもいますが石川県出身の宮本三郎がその二紀会の創始者の一人であり、宮本三郎は日本の画家の中でも歴史に残る素晴らしい画家です。作品は人物から静物風景迄何でもこなし、デッサン力も確かで華麗で華やかな色彩を駆使したたいへんな画家です。逸話としては二紀会の幹部の会合の際、いつも紙があれば何でもスケッチする習慣があり会合のあいだ宮本三郎は前に並ぶ人をスケッチし、その会合が終わると何人かのひとがそのスケッチを取りに来たそうです。

それはそのスケッチを飾るとか、或いは売るとか言うような事だったと聞きました。生まれ故郷の小松には宮本三郎美術館もありついでのとくにお寄りいただければ宜しいかと思えます。

この数点は、一人の人物のみを空間に配して人間のポーズと表情と単純な背景でなにかしら表現出来ないのかなと思ひ、やってみました。現代の個としての人間の在り様で、孤独や歎き優しさ等が物言わぬ人間のポーズや表情で語ればと考えました。一部表情やポーズは能面だったり仏像だったりしています。

この作品はメリーゴーランドという題で二紀展にて同人と言う 1 つランクが上の会員になるきっかけになった作品です。

次の絵は翌年に二紀展に出品した作品です。

これは過程をとってあります。いつもではないのですが作品を仕上がるまでに途中の写真をとることがあります。というのはそうしておくもとに戻れるのもあり、また上手くいった時どうい過程でできたのかを記録出来るのでその後新しい作品を描く上で参考になるからです。

その作業をしているひとは多くはないですが見た事があります。

2011 年の作品です。これが 4 月 2 日から 19 日まで石川県立美術館と金沢 2 1 世紀美術館にて開催された現代美術展にて美術文化大賞をいただいた「銀の器」という作品です。地方の展覧会としては、規模も大きくレベルもたかい展覧会です。

それで今回の作品では、2～3 年前より小品で描いていた作品をもとに 50 号の作品に昇華しました。

これが小品です。大きさは 30 号の変形です。この作品も昨年の 11 月ごろ顔とか一部修正し東京の松坂屋で二紀会の受賞作家展に出品し或企業の社長さんが気に入られいまその会社の受付に飾ってあります。

その人物を今回の 50 号の作品の中に入れてみました。

上手く行きそうな感じが背景が少し無理があり、頭部に目が行くようにと考へそのあたりに夜景の光りが集中するようにしましたが、そこは空にして暗くする事で顔が浮き上がるようにしたほうが目立つと思ひ雲も肩より下において変化を付けました。さらに地上に雲間をつくり夜景のあかりが雲間から解るようにしました。

下の雲によって奥行きを作り天空の星と地上の星というイメージも考へました。小品の人物を、入れてからは仕上げまで約 1 ヶ月でした。モデルはロシアの女性でした。多少はアレンジしてあります。器も位置は度のあたりにしようとか金の器か銀の器かとか、雲の量はどれくらいが適切かとかかなり微妙なところまでつめました。夏のキゴ山という設定ですが明かりの具合は構図を考へて変えました。

そしていつものように搬入日の最終日、ぎりぎりまで筆をとっていました。本当はもう少し余裕があるとよいのですが。

この時、3 月 11 日東北で大きな地震があり、たいへんな事になりました。

そしてテレビやラジオで震災の報道が流れるたびに、言葉とか絵とか音楽とかどんなものも映像からながれてくる現実ほど訴えてくるものはないと思ひました。

皆様も同じ気持ちであったと思ひます。ある 7 0 代ぐらいの家族を流された老人男性がインタビューを受けている途中で言葉は平静を務めているのが解り落ちて話そうとしていましたが、突然言葉が止まり、その後すぐに涙が目から流れ出て話ができなくなりました。その時思ったのは真実の姿がとにかく人の心に届くという事でした。そして絵というのは絵空事でもあるのですが、そのなかで自分にできることは何か、また何をしたら良いのかという思ひでした。

そこからは、被災者の方々にこの作品で何かできるのだろうか。という思ひのなかで勇気づけられないか、希望や癒しということでした。また不思議なものでそう言う想ひがこもると或いは意識すると絵にはそう言うイメージが漂うという事です。この作品の銀の器の中には水のようなものが入っていて、そのなかにはいろんな想ひや願ひ、祈りなどが込めれば良いのかなと想ひ描いてみました。

どちらかというこの作品を描いたと言うより出来上がった、描かせてもらったと言う気持ちがありました。

今後にもなにかしら援助できればと想っております。

あと2枚の絵は今年の二紀展に用意した作品です。

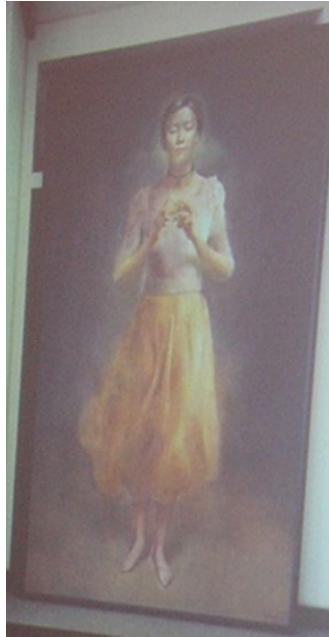
明るい方の絵が入選いたしました。

たしかに絵というものはいろいろな要素、構図、主題、色、設定などがありますが、当然基本的には必要とされますが、その背後には描く前に何を意識しているか、みえないものがありそれを描くということがたいせつだなあと想います。普通のひとでもいいなと思えるような作品が描けるようになりたいと想っております。

かわいい子どもやきれいな女性やきれいな男性やきれいな老人というように、自分にないものを求めて描きたいとおもっています。たいへんつたない話でしたが、また展覧会に足を運んで頂ければと思います。

今日は上杉様のご紹介でお話させて頂き誠に有難うございました。

絵を描くのはなんとかできますが話はあまり上手くないので、ほんとうに皆様には御静聴誠に有難うございました。



点 鐘